データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日:令和6年03月26日

公立学校共済組合愛媛支部

STEP 1-1 基本情報

コード	100038
支部名称	公立学校共済組合愛媛支部
形態	総合
業種	公務

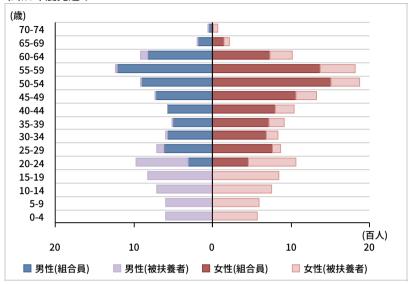
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
組合員数	14,716名 男性43.8% (平均年齢46.6歳) 女性56.2% (平均年齢45.5歳)	-名 男性-% (平均年齢-歳) 女性-% (平均年齢-歳)	-名 男性-% (平均年齢-歳) 女性-% (平均年齢-歳)
任意継続組合員 数	262名	-名	-名
被扶養者数	9,209名	-名	-名
事業主数	47ヵ所	-ヵ所	-カ所
所属所数	532ヵ所	-ヵ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	2.82‰	-%0	-%0

		共済組合の	共済組合の医療専門職											
		令和6年度!	見込み	令和7年度	見込み	令和8年度見込み								
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)							
共済組合	顧問医	0	0	-	-	-		-						
共済組合	保健師等	2	0	-	-	-		-						
古类子	産業医	0	0	-	-	-		-						
事業主	保健師等	0	0	-	-	-		-						

		第3期における基礎数値	
特定健康診査実施率	全体	9,135 / 10,36	8 = 88.1 %
(特定健康診査実施者数÷	組合員	8,316 / 8,69	0 = 95.7 %
特定健康診査対象者数)	被扶養者	819 / 1,67	8 = 48.8 %
特定保健指導実施率	全体	889 / 1,77	5 = 50.1 %
(特定保健指導実施者数÷	組合員	876 / 1,68	8 = 51.9 %
特定保健指導対象者数)	被扶養者	13 / 8	7 = 14.9 %

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
			組合員一人 当たり金額(円)	T7	組合員一人 当たり金額(円)	177 B 281 (T-124)	組合員一人 当たり金額(円)
	特定健康診査費	122,172	8,302	-	-	-	-
	特定保健指導費	29,558	2,009	-	-	-	-
	一般事業費(教養・文化関係)	2,587	176	-	-	-	-
	健康管理事業費	30,612	2,080	-	-	-	-
保健事業費	一般事業費(体育関係)	0	0	-	-	-	-
	一般事業費(保養関係)	17,038	1,158	-	-	-	-
	その他	2,234	152	-	-	-	-
	小計 ···a	204,201	13,876	0	-	0	-
	経常支出合計 ···b	244,734	16,630	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	83.44		-		-	

令和6年度見込み



令和8年度見込み



令和7年度見込み

男性(組合員)

令和6年月	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年度見込み			
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人	15~19	1人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	307人	25~29	613人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	574人	35~39	502人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	567人	45~49	720人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	900人	55~59	1,213 人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	824人	65~69	179人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	46人			70~74	-人			70~74	-人		

女性 (組合員)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年度見込み			
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人	15~19	1人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	457人	25~29	762人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	689人	35~39	715人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	799人	45~49	1,059 人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	1,510 人	55~59	1,377 人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	736人	65~69	146人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	17人			70~74	-人			70~74	-人		

男性(被扶養者)

令和6年周	度見込み			令和7年/	度見込み			令和8年度見込み			
0~4	599人	5~9	594人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人 5~9	-人	
10~14	712人	15~19	824人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人 15~1	9 -人	
20~24	665人	25~29	86人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	- _人 25~2	9 -人	
30~34	26人	35~39	10人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	- _人 35~3	9 -人	
40~44	4人	45~49	8人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人 45~4	9 -人	
50~54	10人	55~59	26人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	- _人 55∼5	9 -人	
60~64	96人	65~69	10人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	- _人 65∼6	9 -人	
70~74	12人			70~74	-人			70~74	-人		

女性(被扶養者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年度見込み			
0~4	569人 5	~9	591人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	755人 1	.5~19	841人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	602人 2	5~29	103人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	150人 3	5~39	192人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	240人 4	5~49	268人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	363人 5	5~59	444人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	281人 6	5~69	70人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	57人			70~74	-人			70~74	-人		

基本情報から見える特徴

- ・組合員の男女比は女性の方が高い。(56.2%)
- ・組合員は50歳代が最多で34.0%を占める。
- ・事業主の拠点が県内各地にあり、加入者も点在している。
- ・加入者に占める被扶養者割合は38.1%であり、40歳以上の被扶養者は1,889人である。

STEP1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

被扶養者等の特定健診・特定保健指導の実施率が低い。 県教委以外の事業主とのコラボヘルスが弱い。

事業の一覧

事未り 見	
職場環境の整備	
予算措置なし	コラボヘルス
加入者への意識づけ	
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
事業主の取組	

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予	È 1)				対象	者				振り返り					
野野	, 事業 }類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価			
職場環	境の	整備													
予算措置なし	1		保健事業を利用しやすい職場環境づくり 一部保健事業の共催(県・互助会)	全て	男女	0~ (上限なし)	加入者全員		所属所長を通じて各保健事業を周知。 保健事業の就業時間内の実施(職免)。 県・互助会との保健事業(ドック・セミナー等)の共同実施。 本部から提供される支部現状値整理シートの提供。	実施案内や決定通知等も所属所長を通 じて通知。 職免について、実施通知等に記載。	県教委以外の事業主との関わりが薄い。 。 国から提供される健康スコアリングレポートが組合単位のため利用しづらい。	4			
	るへの意識づけ														
個別の	事業								[中华克] 00 10/ (日本000/)						
特定健康診査事業	3	特定健康診査	【目的】 ・内臓脂肪症候群該当者割合の減少 ・生活習慣改善に向けた意識の向上 【概要】 ・組合員:定健・ドック等の結果受領 ・被扶養者等:ドック等の結果受領、セット券交付による実施	全て	男女	40 ~ 74	加入者全員	122,172	【実施率】88.1% (目標90%) 【内臓脂肪症候群該当者割合】13.9% (目標10%) 【就寝前の2時間以内に夕食をとること が週3回以上ある】40.9% (目標36%) 【朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物 を摂取している】83.6% (目標80.4%)	ため、組合員の実施率は高い。 県内全市町で住民健診での健診受け入 れが可能となった。 被扶養者等のうち未受診者への受診勧	被扶養者等の実施率が低い。	4			
特定保健指導事業	4	特定保健指導	[目的] ・内臓脂肪症候群該当者割合の減少 ・生活習慣改善に向けた意識の向上 [概要] ・組合員:ドック当日、所属所訪問型・遠隔型(本部契約)、利用券の交付による実施 ・被扶養者等:ドック当日、セット券による実施	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	29,558	【実施率】50.1% (目標45%) 【特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率】40.0% (目標40%) 【内臓脂肪症候群該当者割合】13.9% (目標10%) 【生活習慣の改善を「まだ開始していない」】72.1% (73.3%)	所属所訪問型・遠隔型での実施。 未希望者への利用勧奨(架電)。	被扶養者等の実施率が低い。	4			

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%

		対象者	振り返り				
事業名	事業の目的および概要	資格 性別 年 齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	実施	

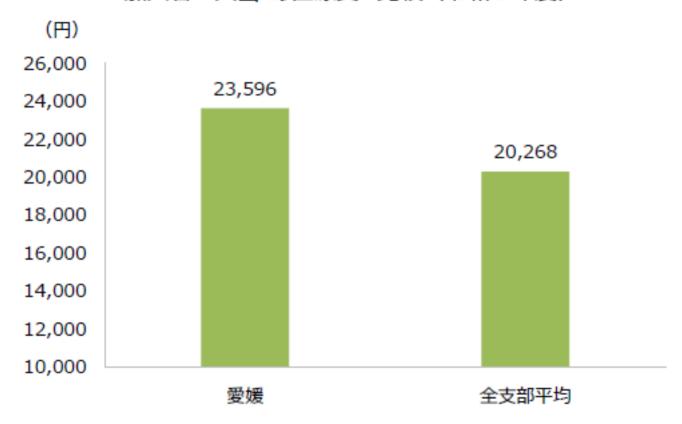
事業主の取組

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	70		
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア	加入有一人当2-5%等的代数(令和 2 年後) (P) 24,000 24,000 24,000 24,000 14,000 14,000 14,000 14,000 14,000 15,000 東東 生力等中的	01_生活習慣病における加入者一人当たり医療費の比較(令和3年度)	医療費・患者数分析	全支部に比べて一人当たり医療費が高い。
7	NIAB - ASCRIGORMONIANI (TAZOPIR - (NI) NED 100 1	02_生活習慣病における加入者一人当たり医療費の増減傾 向(平成29年度〜令和3年度)	医療費・患者数分析	全支部平均では微減傾向にあるが、当支部では年々増加傾向にある。
ウ	### AND PROPERTY OF THE PROPER	03_生活習慣病における疾病別加入者一人当たり医療費(令和3年度)	医療費・患者数分析	高血圧性疾患が最も高額。次いで、糖尿病、脂質異常症、腎不全の順に高い。 い。 全支部と比較し、糖尿病・脂質異常症・高血圧性疾患・腎不全が高い。
I	TRACE FOR TAX TRACE TRACE	04_「血圧」のリスク状態比較(令和3年度)	健康リスク分析	健康状況は、全支部に比べて血圧のリスク者(保健指導+受診勧奨)の割合が高い。
オ	Mode Micros Create - Chi Call	05_男女合計_問診における生活習慣の割合(平成29年度 ・令和3年度)	健康リスク分析	生活習慣は全支部に比べて、食事・睡眠のリスク者割合が高い。
カ	####################################	06_被扶養者における特定保健指導実施率の推移(平成29 年度〜令和3年度)	特定保健指導分析	被扶養者の特定保健指導利用者が少ない。
			7	

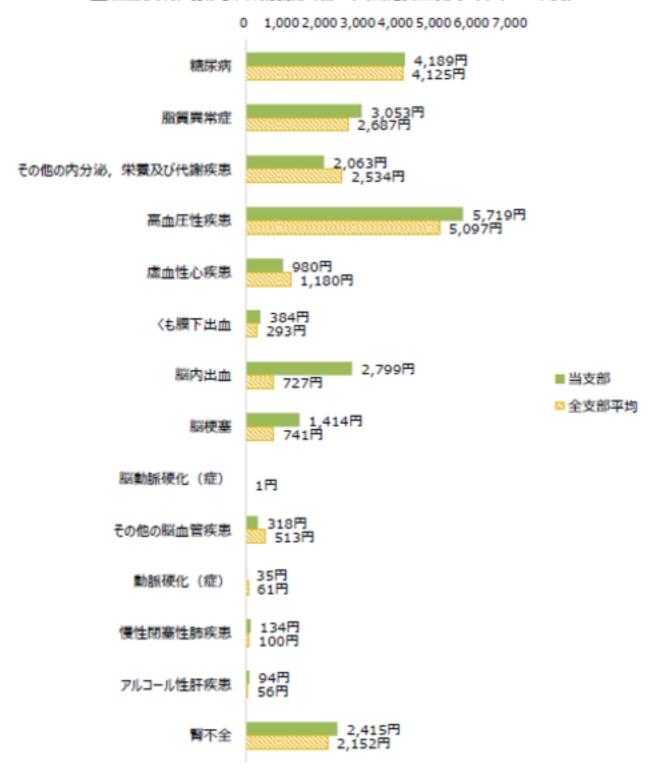
加入者一人当たり医療費の比較(令和3年度)



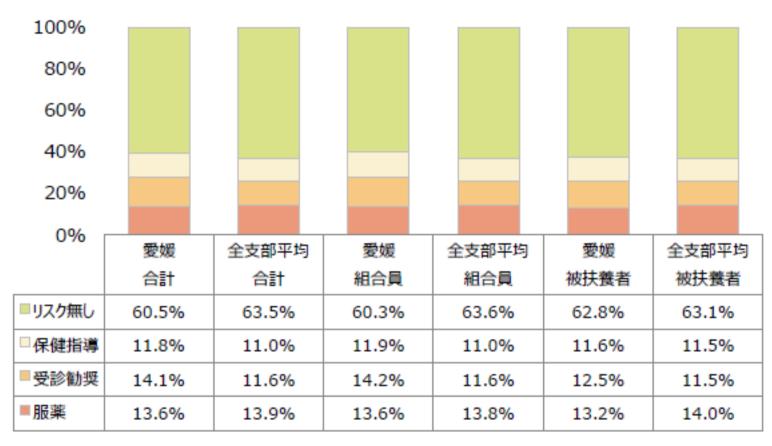
加入者一人当たり医療費の増減傾向(平成29年度~令和3年度)



生活習慣病における疾病別加入者一人当たり医療費(令和3年度)

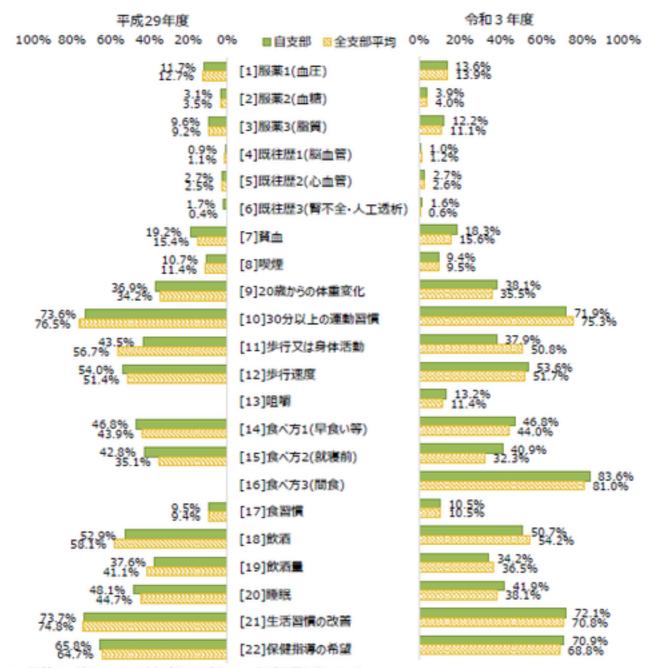


「血圧」のリスク状態比較(令和3年度)



■服薬 ■受診勧奨 □保健指導 ■リスク無し

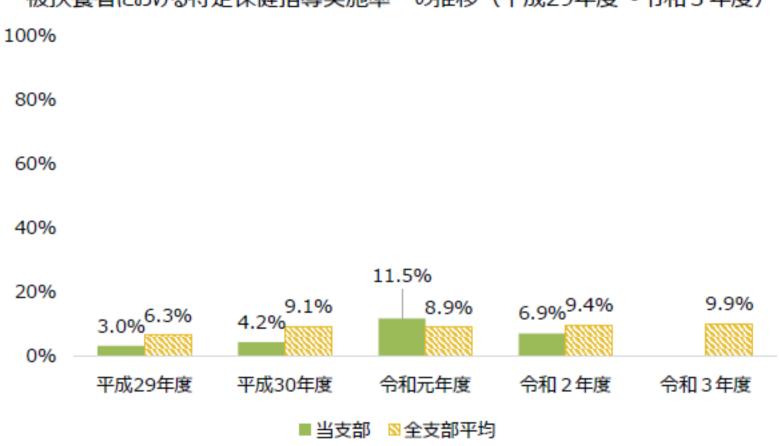
男女合計 問診における生活習慣の割合(平成29年度・令和3年度)



^{※1.}間診の回答において、割合が高いほど良くない生活習慣を表している

^{※2.}平成29年度は閉診項目の中に咀嚼がなかったため結果なし。また、食べ方3(間食)は質問内容が異なっていたため比較対象から除外

被扶養者における特定保健指導実施率※4の推移(平成29年度~令和3年度)



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1		全支部と比較し、生活習慣病における医療費が高く、増加傾向にある。 糖尿病・脂質異常症・高血圧性疾患・脳梗塞・腎不全などが相対的に高い。	>	生活習慣病の予防及び重症化予防を進める。	~
2	エ,オ	健康状況は、血圧のリスク者(保健指導+受診勧奨)割合が高い。 生活習慣については、食事のリスク者割合が高い。	>	食事に関する生活習慣改善を促す。	
3	カ	被扶養者等の特定健診・特定保健指導の実施率が低く、行動変容を促すこと が必要。	>	個別契約による集団健診の実施、ドック当日保健指導実施機関を増やす 等、特定健診・特定保健指導を受けやすい体制の構築。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・組合員の男女比は女性の方が高い。(56.2%) ・組合員は50歳代が最多で34.0%を占める。	>	従来から50代の者が多いが、徐々に若年層の占める割合が高くなっているため、若年層 も対象とした事業を検討する。
2	・事業主の拠点が県内各地にあり、加入者も点在している。	→	組合員数・拠点(所属所)数が多く、個々に直接働きかけることは効率的ではないため 、事業所(教委等)とのコラボヘルスが重要。 個々へ働きかける場合は既存の手段(広報誌・医療費通知)を活用。
3	・加入者に占める被扶養者割合は38.1%であり、40歳以上の被扶養者は1,889人である。	>	被扶養者が多いため、特定健診・特定保健指導をはじめ、被扶養者を対象とした事業の 展開を検討する。

保健事業の実施状況

No	特徴		対策検討時に留意すべき点
	a 被扶養者等の特定健診・特定保健指導の実施率が低い。	>	個別契約による集団健診の実施、ドック当日保健指導実施機関を増やす等、特定健診・ 特定保健指導を受けやすい体制を構築する。
	2 県教委以外の事業主とのコラボヘルスが弱い。	>	発行が予定されている支部単位での健康スコアリングレポートの提供をきっかけに健康 課題の共有を図る。

STEP3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 生活習慣改善を促し、内臓脂肪症候群該当者割合の減少を図るとともに生活習慣病の予防及び重症化予防を進める。

事業全体の目標 内臓脂肪症候群該当者割合:10%

事業の一覧

事業の一覧	
職場環境の整備	
予算措置なし	コラボヘルス
加入者への意識づけ	
健康管理事業費	若年層への健康リテラシー向上及び健康づくり
個別の事業	
特定健康診査費	特定健康診査
特定保健指導費	特定保健指導
健康管理事業費	健診等の効果的・効率的な実施
健康管理事業費	5大がん検診の効果的・効率的な実施

[※]事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

		対象者	3				注4) フトラク		予算額(千円) 実施計画							
業	事業主	杜别 年		尾施 ブ	プロセス 分類	実施方法	ストラク チャー	実施体制	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計画 令和9年度	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連
²⁵ 存	尹未工	出的	対象省 -	-#		アウトプット指標	分類		774104-6	7411年度	774104-15	で作り十尺	111			
境の整備						ノンドノクド担保							791	カム 日保		
										-	-		-	-		
		0														
月 平			加入者			所属所長から組合員への 保健事業周知。		県教委・互助会と保健事 業の共同実施。	保健事業の共同実施 就業時間内の実施(職免	保健事業の共同実施 就業時間内の実施(職免	保健事業の共同実施 就業時間内の実施(職免	保健事業の共同実施 就業時間内の実施(職免	保健事業の共同実施 就業時間内の実施(職免	保健事業の共同実施 就業時間内の実施(職免	内臓脂肪症候群該当者割合の減少。	健康状況は、血圧のリスク者 健指導+受診勧奨)割合が高い
1	全て	万 女	全員	3 ケ,	, T	保健事業の就業時間内の	ア,ク	事業計画時に情報を共有) 所属所長経由での通知発) 所属所長経由での通知発) 所属所長経由での通知発) 所属所長経由での通知発) 保健事業に参加		環境づくり。 生活習慣については、食事のリン	
		な し				実施(職免)。		0	送	送	送	送	送	送	O ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL AL	ク者割合が高い。
			•													
		•								· ·	】2.1% 【目標値】令和6 ンケートを受領した等健康詞				0年度:100% 令和11年度:100%)健康ス	コアリングレポート等を配布
- / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	/ 月 小丘 口 マフ //	EL SA	「灰」人民日に		K 11/1/22 C =	TAL (MAXXXX)	77 H 9 W 1		. TASIENOICEIDA.	C III C EXIBOR 7	ファービ文族のた守庭族	N屋に ラグ・モストラック 19197	70% 医放射化学来上的品质	-		
の息識づり										-	-		-	-	-	
		0														A
若年層への健		~				出前講座(講師派遣)の 実施。		直営病院の職域事業を利 用。								全支部と比較し、生活習慣 ける医療費が高く、増加傾
既康リテラシー存向上及び健康	全て	男女阻	加入者	1 ケ,	77	職免の適用。 40歳以上の組合員同様、	シ	事業主(健診機関)へ40 歳未満の者の結果の提供		健康づくりセミナーの実 施	健康づくりセミナーの実 施	健康づくりセミナーの実 施	健康づくりセミナーの実 施	健康づくりセミナーの実 施	内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。	る。 糖尿病・脂質異常症・高血
づくり		な				事業主(健診機関)から健診結果を受領する。		について周知し、契約を 締結する。								患・脳梗塞・腎不全などかに高い。
		Ç				健砂桁米で文限9つ。		神流 9 る。								に向い。
年層の健診情報受領率(【実績値】	- 【目标	票値】令和6年	F度:0%	% 令和	7年度:18% 令和8年度	:36% 令	和9年度:54% 令和10年原	隻:72% 令和11年度:90	若年層の内臓脂肪症候群	該当者割合(【実績値】-		% 令和7年度:12.8% 숙	↑和8年度:12.1% 令和 9年	 	□ 1年度:10%)全体と同じ目標
若年層の事業主健診の	結果につい	いて、教育	委員会等から	5受領し	た率。					定。結果受領開始後、実績	漬から大きく乖離している場	湯合は見直す。				
事業																
						対象者自宅へセット券を					1		-	-		全支部と比較し、生活習慣
既存						直送。		定健結果を円滑に受領で	定健・ドックの結果受領	定健・ドックの結果受領	定健・ドックの結果受領	定健・ドックの結果受領	定健・ドックの結果受領	定健・ドックの結果受領		ける医療費が高く、増加傾
3	全て		加人者 - - - - - - - - - - - - - -	3 ケ		集団健診(個別契約)と 集合契約での実施の選択	ア	きるよう被保険者番号等	セット券交付	セット券交付	セット券交付 個別契約による集団健診	セット券交付 個別契約による集団健診	セット券交付	セット券交付	内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。	る。 糖尿病・脂質異常症・高』
定		74	± 5			制。 未受診者には勧奨はがき		う事業主に依頼。	の実施	の実施	の実施	の実施	の実施	の実施	工川目頂以音に同いた念職の円工。	患・脳梗塞・腎不全などが
						小又砂白には削光はルビ										に宣い
之 全健康診査実施率(【実	績値】88.1	1% 【目	標値】令和6	年度:8		を送付。	8年度:89	.0% 令和9年度:89.3%	令和10年度:89.7% 令和] 内臓脂肪症候群該当者割	合(【実績値】13.9% 【目	嘌值】令和6年度:13.5%	令和7年度:12.8% 令和	8年度:12.1% 令和9年度	:11.4% 令和10年度:10.7% 令和11年	に高い。 度:10.0%)内臓肥満に高血』
年度:90.0%)内臓脂肪	症候群該当	当者及び予			88.3%	を送付。 令和7年度:88.7% 令和					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				: 11.4% 令和10年度:10.7% 令和11年 ・ 内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特	度:10.0%)内臓肥満に高血原
年度:90.0%)内臓脂肪	症候群該当	当者及び予			88.3% · ソグし、必	を送付。 令和7年度:88.7% 令和				糖・脂質代謝異常が組みな	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた[
手度:90.0%)内臓脂肪 るための基盤となるアウ 既 存	症候群該当 7トプット	当者及び予 指標。 40	備群をスク	ノーニン	88.3% ソグし、必	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 必要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。	となるのが	特定健診であり、特定健康	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の	糖・脂質代謝異常が組みなれている。	合わさることにより、心臓症 - ドック当日の初回面談の	をでいます。 「では、 「では、 では、 には、 では、 には、 では、 には、 には、	態を持つ人、つまり内臓脂脂 - ドック当日の初回面談の	防症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の	r。内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 - -	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習作 ける医療費が高く、増加作
手度:90.0% 内臓脂肪 5ための基盤となるアウ 既 存 (法 特定保健指導	症候群該当	当者及び予 指標。 40	備群をスク		88.3% ソグし、必 ,ケ,コ	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 必要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。 委託機関による利用勧奨 。	となるのが		診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。 - ドック当日の初回面談の実施 本部一括契約での実施	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	態を持つ人、つまり内臓脂脂 - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施	が症候群該当者の割合を表す - - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施		度: 10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習情 ける医療費が高く、増加する。 糖尿病・脂質異常症・高血
F度:90.0%)内臓脂肪 5ための基盤となるアウ 既 存	症候群該当 7トプット	当者及び予 指標。 40 男女	備群をスク	ノーニン	88.3% ソグし、必 ,ケ,コ	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 必要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。	となるのが	特定健診であり、特定健康 外部委託機関と健康課題	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施	糖・脂質代謝異常が組みなれている。 - ドック当日の初回面談の実施	合わさることにより、心臓が - - ドック当日の初回面談の 実施	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	態を持つ人、つまり内臓脂脂 - ドック当日の初回面談の 実施	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の 実施	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特内臓脂肪症候群該当者割合の減少。	度: 10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習情 ける医療費が高く、増加し る。 糖尿病・脂質異常症・高血
F度:90.0%)内臓脂肪 ための基盤となるアウ 既存 (法定)	症候群該≦ 7トプット 全て	当者及び予 指標。 4(男女 ~ 74	備群をスク 基準該 当者	1 I,	88.3% · ッグし、必	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 必要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。 委託機関による利用勧奨 。 人間ドック当日の面談実 施。	となるのが	特定健診であり、特定健康 外部委託機関と健康課題 を共有。	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。 - ドック当日の初回面談の実施 本部一括契約での実施	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	態を持つ人、つまり内臓脂脂 - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施	が症候群該当者の割合を表す - - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特内臓脂肪症候群該当者割合の減少。	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習慣 ける医療費が高く、増加し る。 糖尿病・脂質異常症・高血 患・脳梗塞・腎不全などが
度:90.0%)内臓脂肪 ための基盤となるアウ 既存 (法定) 保健指導実施率(【実 た)特定保健指導対象者	症候群該当 7トプット 全て (責値) 50 のうちプロ	当者及び予 指標。 男女 74 1% 【目 コグラムに	備群をスク 基準 基当 で 標値 し 、終	リーニン 1 エ, 年度:5 した人	88.3% · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 必要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。 委託機関による利用勧奨 。 人間ドック当日の面談実 施。	となるのが ウ 度:56%	特定健診であり、特定健康 外部委託機関と健康課題	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	時や脳卒中になりやすい病が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	表を持つ人、つまり内臓脂脂 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	r。内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 - - 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 を: 40.4% 令和9年度: 40.6% 令和10年	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習付 ける医療費が高く、増加付 る。 糖尿病・脂質異常症・高 患・脳梗塞・腎不全などが に高い。
E度:90.0%)内臓脂肪 ための基盤となるアウ 既存 (法定) 特定保健指導 で保健指導実施率(【実 の)特定保健指導対象者	症候群該当 7トプット 全て (責値) 50 のうちプロ	当者及び予 指標。 男女 74 1% 【目 コグラムに	備群をスク 基準 基当 で 標値 し 、終	リーニン 1 エ, 年度:5 した人	88.3% · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 必要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。 委託機関による利用勧奨 。 人間ドック当日の面談実 施。	となるのが ウ 度:56%	特定健診であり、特定健康 外部委託機関と健康課題 を共有。 令和9年度:58% 令和10	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	時や脳卒中になりやすい病が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	表を持つ人、つまり内臓脂脂 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	r。内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 - - 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた日 全支部と比較し、生活習慣 ける医療費が高く、増加付 る。 糖尿病・脂質異常症・高」 患・脳梗塞・腎不全などが に高い。
平度:90.0%内臓脂肪 5ための基盤となるアウ 既存 (法定) 特定保健指導 定保健指導実施率(【実 %)特定保健指導対象者	症候群該当 7トプット 全て (責値) 50 のうちプロ	当者及び予 指標。 男女 74 1% 【目 コグラムに	備群をスク 基準 基当 で 標値 し 、終	リーニン 1 エ, 年度:5 した人	88.3% · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 必要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。 委託機関による利用勧奨 。 人間ドック当日の面談実 施。	となるのが ウ 度:56%	特定健診であり、特定健康 外部委託機関と健康課題 を共有。 令和9年度:58% 令和10	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	時や脳卒中になりやすい病が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	表を持つ人、つまり内臓脂脂 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	r。内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 - - 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 を: 40.4% 令和9年度: 40.6% 令和10年	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた日 全支部と比較し、生活習慣 ける医療費が高く、増加付 る。 糖尿病・脂質異常症・高」 患・脳梗塞・腎不全などが に高い。
平度:90.0%内臓脂肪 5ための基盤となるアウ 既存 (法定) 特定保健指導 定保健指導実施率(【実 %)特定保健指導対象者	症候群該当 7トプット 全て (責値) 50 のうちプロ	当者及び予 指標。 男女 74 1% 【目 コグラムに	備群をスク 基準 基当 で 標値 し 、終	リーニン 1 エ, 年度:5 した人	88.3% · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 必要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。 委託機関による利用勧奨 。 人間ドック当日の面談実 施。	となるのが ウ 度:56%	特定健診であり、特定健康 外部委託機関と健康課題 を共有。 令和9年度:58% 令和10	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	時や脳卒中になりやすい病が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	表を持つ人、つまり内臓脂脂 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	r。内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 - - 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 を: 40.4% 令和9年度: 40.6% 令和10年	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習作 ける医療費が高く、増加付 る。 糖尿病・脂質異常症・高」 患・脳梗塞・腎不全などが に高い。 度:40.8% 令和11年度:4
手度:90.0%)内臓脂肪 5ための基盤となるアウ 既存 (法定) 特定保健指導 を保健指導実施率(【実 が)特定保健指導対象を高 がり、終了者の割合を高 健診等の効果	症候群該当 7トプット 全て (責値) 50 (あっちプロ のうち方法	当者及び予 指標。 男女 74 1% 【目 コグラムに	備群をスク 基準者 標値】し、活用 標参深る上で活用	ノーニン 1 エ, 年度:5 アした人 できる。	88.3% · ッグし、必 ,ケ,コ 52% 令 人の割合を	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 必要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施 委託機関による利用勧奨 。 人間ドック当日の面談実施。 和7年度:54% 令和8年 と示す。特定保健指導の効	となるのか ウ 度:56% 果を上げる	外部委託機関と健康課題 を共有。 令和9年度:58% 令和10 には、プログラムへの参加	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切	糖・脂質代謝異常が組みれている。	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	時や脳卒中になりやすい病が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	表を持つ人、つまり内臓脂脂 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ロ7年度:40.2% 令和8年月 対象者の属性や働き方に応し	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 を: 40.4% 令和9年度: 40.6% 令和10年 た指導を探るために活用できる。 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習 ける医療費が高く、増加 る。 糖尿病・脂質異常症・高」 患・脳梗塞・腎不全などに高い。 度:40.8% 令和11年度:
E度:90.0%)内臓脂肪 ための基盤となるアウ 既存 (法定) (法定) (保健指導実施率(【実 (を))特定保健指導対象者 (1) (5) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	症候群該当 7トプット 全て (責値) 50 のうちプロ	当者及び 当指標。 男女 74 目に の (上) 下 女女 9 世 1 2 世 1	備群をスク 基当 準者 標値】し、で活用 薬る上でで活用 基当 準者	リーニン 1 エ, 年度:5 した人	88.3% · ッグし、必 ,ケ,コ 52% 令 人の割合を。	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 必要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。 委託機関による利用勧奨 。 人間ドック当日の面談実 施。	となるのか ウ 度:56% 果を上げる	特定健診であり、特定健康 外部委託機関と健康課題 を共有。 令和9年度:58% 令和10	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	時や脳卒中になりやすい病が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	表を持つ人、つまり内臓脂脂 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 を: 40.4% 令和9年度: 40.6% 令和10年 にた指導を探るために活用できる。	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習ける医療費が高く、増加ける。 糖尿病・脂質異常症・高に高い。 度:40.8% 令和11年度:4 全支部と比較し、生活習ける医療費が高く、増加ける医療費が高く、増加ける。 糖尿病・脂質異常症・高に
E度:90.0%)内臓脂肪 ための基盤となるアウ 既存 (法定) 既存 (法定) (法定) (法定) (保健指導実施率(【実 (集) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	症候群該当 7トプット 全て (責値) 50 (あっちプロ のうち方法	当者及び予 指標。 男女 74 1% 【目 コグラムに	備群をスク 基当 準者 標値】し、で活用 薬る上でで活用 基当 準者	ノーニン 1 エ, 年度:5 アした人 できる。	88.3% · ッグし、必 ,ケ,コ 52% 令 人の割合を。	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 8要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型での実施機関による利用勧奨 。人間ドック当日の面談実 施。 和7年度:54% 令和8年 を示す。特定保健指導の効	となるのか ウ 度:56% 果を上げる	外部委託機関と健康課題 を共有。 令和9年度:58% 令和10 には、プログラムへの参加	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切	糖・脂質代謝異常が組みれている。 ドック当日の初回面談の実施 本部一括契約での実施セット券での実施 セット券での実施	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 とのようである。 保健指導対象者の減少率(【 な成果を評価しているもの。	時や脳卒中になりやすい病所 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 実績値】40.0% 【目標値 特定保健指導の効果的など	まを持つ人、つまり内臓脂脂 - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ・ プ 令和6年度:40.0% 令利 方法・体制を工夫したり、対	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ロ7年度:40.2% 令和8年月 対象者の属性や働き方に応し	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 は:40.4% 令和9年度:40.6% 令和10年に た指導を探るために活用できる。 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 疾病の早期発見・重症化予防による医療費	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習ける医療費が高く、増加ける。 糖尿病・脂質異常症・高に高い。 度:40.8% 令和11年度:4 全支部と比較し、生活習ける医療費が高く、増加ける医療費が高く、増加ける。 糖尿病・脂質異常症・高に
F度:90.0%)内臓脂肪 ための基盤となるアウ 既存 (法定) 既存 (法定) に保健指導 に保健指導 に保健指導対象を に対し、終了者の割合を に関いて、 に関いて に関い、 に関いて に関いて に関いて に関いて に関いて に関いて に関いて に関いて に関いて に関いて に関いて に関いて に関いて に	症候群該当 7トプット 全て (責値) 50 (あっちプロ のうち方法	当者及び 当指標。 男女 74 目に の (上) 下 女女 9 世 1 2 世 1	備群をスク 基当 準者 標値】し、で活用 薬る上でで活用 基当 準者	ノーニン 1 エ, 年度:5 アした人 できる。	88.3% · ッグし、必 ,ケ,コ 52% 令 人の割合を。	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 8要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型での実施機関による利用勧奨 。人間ドック当日の面談実 施。 和7年度:54% 令和8年 を示す。特定保健指導の効	となるのか ウ 度:56% 果を上げる	外部委託機関と健康課題 を共有。 令和9年度:58% 令和10 には、プログラムへの参加	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切	糖・脂質代謝異常が組みれている。 ドック当日の初回面談の実施 本部一括契約での実施セット券での実施 セット券での実施	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 とのようである。 保健指導対象者の減少率(【 な成果を評価しているもの。	時や脳卒中になりやすい病所 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 実績値】40.0% 【目標値 特定保健指導の効果的など	まを持つ人、つまり内臓脂脂 - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ・ プ 令和6年度:40.0% 令利 方法・体制を工夫したり、対	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ロ7年度:40.2% 令和8年月 対象者の属性や働き方に応し	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 は:40.4% 令和9年度:40.6% 令和10年に た指導を探るために活用できる。 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 疾病の早期発見・重症化予防による医療費	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習ける医療費が高く、増加ける。 糖尿病・脂質異常症・高 患・脳梗塞・腎不全などが に高い。 度:40.8% 令和11年度:4 全支部と比較し、生活習ける。 を対し、生活習ける。 糖尿病・脂質異常症・高に 。 ・脂尿病・脂質異常症・高に 。 ・脂尿病・脂質異常症・高に 。 ・脂尿病・脂質異常症・高に 患・脳梗塞・腎不全などが
度:90.0%)内臓脂肪ための基盤となるアウス	症候群該 フトプット 全て (動) 50 (動) 50 (動) 50 (力) 2 (力) 3 (力) 3 () 3 () 3 () 3 () 3 () 3 () 3 () 3 (当者標。 女 女 「 」が 女 「 」が 女 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、	備群をスク 基準者 標値】令和6 参深る上で活用 基当 基当 53.7% [ま	リーニン 1 エ, 年度に入る。 ク 「標値】	88.3% · ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 8要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型での実施機関による利用勧奨 人間ドック当日の面談実 施。 和7年度:54% 令和8年 を示す。特定保健指導の効 年齢や受診歴に応じて対 象者を優先順位付け。	となるのが ウ 度: 56% 果を上げる カ	外部委託機関と健康課題を共有。 令和9年度:58% 令和10には、プログラムへの参加県下19機関と契約。	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切 人間ドックの実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。 - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施を保健指導による情報による直接的な、 人間ドックの実施	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 とでは、 な成果を評価しているもの。 - 人間ドックの実施	「ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施と対策を関係を表現していません。」 大阪の実施をおりた。 「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、」」は、「はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、」は、「はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」はいっとは、「はいっとは、」は、「はいいい」は、「はいいっとは、」は、「はいいっとは、」は、「はいいいい。」は、「はいいいい。」は、「はいいいい。」は、「はいいいい。」は、「はいいいいい。」は、「はいいいいいいいいい。」は、「はいいいいいいいいいいいいいいいい。」は、「はいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	態を持つ人、つまり内臓脂脂 - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 体制を工夫したり、する ・ ・ 人間ドックの実施	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施 ロ7年度:40.2% 令和8年月対象者の属性や働き方に応し -	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 は:40.4% 令和9年度:40.6% 令和10年度 た指導を探るために活用できる。 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 疾病の早期発見・重症化予防による医療費抑制。	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習 ける医療費が高く、増加付 る。 糖尿病・脂質異常症・必 に高い。 度:40.8% 令和11年度: 全支部と比較し、生活習 ける医療費が高く、増加付 る。 糖尿病・脂質異常症・高い。 を主がなどがある。 糖尿病・脂質異常症・高い。 を主がなどがある。
度: 90.0%)内臓脂肪ための基盤となるアウス	症候群該 フトプット 全て (参 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	当者標。 男 女 女 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 、 」 」 」 、 」 、 」 、 」 、 」 、 」 、) 、) 、) 、) 、) 、) 、) 、) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	備群をスク 基準者 標値】令和6 参深る上で活用 基当 基当 53.7% [ま	リーニン 1 エ, 年度に入る。 ク 「標値】	88.3% · ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 8要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型での実施機関による利用勧奨 人間ドック当日の面談実 施。 和7年度:54% 令和8年 を示す。特定保健指導の効 年齢や受診歴に応じて対 象者を優先順位付け。	となるのが ウ 度: 56% 果を上げる カ	外部委託機関と健康課題を共有。 令和9年度:58% 令和10には、プログラムへの参加県下19機関と契約。	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切 人間ドックの実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。 - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施を保健指導による情報による直接的な、 人間ドックの実施	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 とでは、 な成果を評価しているもの。 - 人間ドックの実施	「ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施と対策を関係を表現していません。」 大阪の実施をおりません。 「目標値は特定保健指導の効果的ななない。」 「人間ドックの実施	態を持つ人、つまり内臓脂脂 ・ ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 体制を工夫したり、する ・ ・ 人間ドックの実施	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施 ロ7年度:40.2% 令和8年月対象者の属性や働き方に応し -	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 は:40.4% 令和9年度:40.6% 令和10年に た指導を探るために活用できる。 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 疾病の早期発見・重症化予防による医療費	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた 全支部と比較し、生活習 ける医療費が高く、増加付 る。 糖尿病・脂質異常症・必 に高い。 度:40.8% 令和11年度: 全支部と比較し、生活習 ける医療費が高く、増加付 る。 糖尿病・脂質異常症・高い。 を主がなどがある。 糖尿病・脂質異常症・高い。 を主がなどがある。
平度:90.0%内臓脂肪 5.ための基盤となるアウス 5.ための基盤となるアウス 5.ための基盤となるアウス 5.ための基盤となるアウス 5.たのでは、	症候群該 フトプット 全て (参 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	当者標。 男 女 女 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 、 」 」 」 、 」 、 」 、 」 、 」 、 」 、) 、) 、) 、) 、) 、) 、) 、) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	備群をスク 基準者 標値】令和6 参深る上で活用 基当 基当 53.7% [ま	リーニン 1 エ, 年度に入る。 ク 「標値】	88.3% · ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 8要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型での実施機関による利用勧奨 人間ドック当日の面談実 施。 和7年度:54% 令和8年 を示す。特定保健指導の効 年齢や受診歴に応じて対 象者を優先順位付け。	となるのが ウ 度: 56% 果を上げる カ	外部委託機関と健康課題を共有。 令和9年度:58% 令和10には、プログラムへの参加県下19機関と契約。	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切 人間ドックの実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。 - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施を保健指導による情報による直接的な、 人間ドックの実施	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 とでは、 な成果を評価しているもの。 - 人間ドックの実施	「ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施と対策を関係を表現していません。」 大阪の実施をおりません。 「目標値は特定保健指導の効果的ななない。」 「人間ドックの実施	態を持つ人、つまり内臓脂脂 ・ ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 体制を工夫したり、する ・ ・ 人間ドックの実施	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施 ロ7年度:40.2% 令和8年月対象者の属性や働き方に応し -	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 は:40.4% 令和9年度:40.6% 令和10年度 た指導を探るために活用できる。 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 疾病の早期発見・重症化予防による医療費抑制。	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた目 全支部と比較し、生活習慣 ける医療費が高く、増加値 る。 糖尿病・脂質異常症・高が 患・脳梗塞・腎不全などが に高い。 ・登:40.8% 令和11年度:4 全支部と比較し、生活習慣 ける医療費が高く、増加値 る。 糖尿病・脂質異常症・高が 高い。
年度:90.0%)内臓脂肪では	症候群該 フトプット 全て (参 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	当者標。 男 女 女 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 、 」 」 」 、 」 、 」 、 」 、 」 、 」 、) 、) 、) 、) 、) 、) 、) 、) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	備群をスク 基準者 標値】令和6 参深る上で活用 基当 基当 53.7% [ま	リーニン 1 エ, 年度に入る。 ク 「標値】	88.3% · ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 8要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型での実施機関による利用勧奨 人間ドック当日の面談実 施。 和7年度:54% 令和8年 を示す。特定保健指導の効 年齢や受診歴に応じて対 象者を優先順位付け。	となるのが ウ 度: 56% 果を上げる カ	外部委託機関と健康課題を共有。 令和9年度:58% 令和10には、プログラムへの参加県下19機関と契約。	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切 人間ドックの実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。 - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施を保健指導による情報による直接的な、 人間ドックの実施	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 とでは、 な成果を評価しているもの。 - 人間ドックの実施	「ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施と対策を関係を表現していません。」 大阪の実施をおりません。 「目標値は特定保健指導の効果的ななない。」 「人間ドックの実施	態を持つ人、つまり内臓脂脂 ・ ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 体制を工夫したり、する ・ ・ 人間ドックの実施	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施 ロ7年度:40.2% 令和8年月対象者の属性や働き方に応し -	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 は:40.4% 令和9年度:40.6% 令和10年度 た指導を探るために活用できる。 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 疾病の早期発見・重症化予防による医療費抑制。	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた目 全支部と比較し、生活習慣 ける医療費が高く、増加値 る。 糖尿病・脂質異常症・高が 患・脳梗塞・腎不全などが に高い。 ・登:40.8% 令和11年度:4 全支部と比較し、生活習慣 ける医療費が高く、増加値 る。 糖尿病・脂質異常症・高が ま・脳梗塞・腎不全などが に高い。
年度:90.0%)内臓脂肪でなるアウス (法定) 既存 (法定) 特定保健指導 (【実) 準能導射合を を (大き) 特定 (大き) 特別 (大き)	症候群該 フト 全	当指標。 男 1.0・ 女 2.1・ 女 3.1・ 女 4.(~ 7・ 日本標・ 女 5.4 女 5.4 女 6.1 女 6.1 女 6.1 女 6.1 女 6.1 女 7・ 4.(~ 7 4.(~ 7	備群をスクタングラスタングでは、 基当単者 では、 を表でいる。 を表で、 を表でいる。 を表で、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	リーニン 1 エ, 年度に入る。 ク 「標値】	88.3% · ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 8要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型での実施機関による利用勧奨 人間ドック当日の面談実 施。 和7年度:54% 令和8年 を示す。特定保健指導の効 年齢や受診歴に応じて対 象者を優先順位付け。	となるのが ウ 度: 56% 果を上げる カ	外部委託機関と健康課題を共有。 令和9年度:58% 令和10には、プログラムへの参加県下19機関と契約。	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切 人間ドックの実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。 - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施を保健指導による情報による直接的な、 人間ドックの実施	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 とでは、 な成果を評価しているもの。 - 人間ドックの実施	「ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施と対策を関係を表現していません。」 大阪の実施をおりません。 「目標値は特定保健指導の効果的ななない。」 「人間ドックの実施	態を持つ人、つまり内臓脂脂 ・ ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 体制を工夫したり、する ・ ・ 人間ドックの実施	が症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施 ロ7年度:40.2% 令和8年月対象者の属性や働き方に応し -	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 は:40.4% 令和9年度:40.6% 令和10年度 た指導を探るために活用できる。 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 疾病の早期発見・重症化予防による医療費抑制。	度:10.0%)内臓肥満に高血原定健診・保健指導を通じた目を健診・保健指導を通じた目を主きない。 生活習慣 はる医療 が高く、増加傾る。 糖尿病・脂質異常症・高が高い。 を:40.8% 令和11年度:4 生活習慣 はる医療 が高く、増加傾る。 糖尿病・脂質異常症・が高く、増加傾る。 糖尿病・脂質異常症・高が高い。
年度:90.0%)内臓脂肪で なための基盤となるアウス の基盤となるアウス の表によって の表によって の表によって の表によって の表によって の表には、 の表には、 の表には、 の表には、 の表には、 の表には、 の表には、 のの表には、 の表には、 のまには、 の表には、 のまには、 の表には、 のまには、 の表には、 のまには、	症候群該 フト 全	当指 男 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970	備群をスクターを表する。 「標準を表する。」では、 「は、まする。」では、 「は、まする。」では、 「は、まする。」では、 「は、まする。」では、 「は、まする。」では、 「は、まする。」では、 「は、まする。」では、まずる。。 「は、まする。」では、まずる。。 「は、まずる。」では、まずる。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	リーニン 1 エ, 年度に入る。 ク 「標値】	88.3% · ・ ッグし、必 ,,ケ,コ 52% 令る (特ドック)	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 8要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型での実施機関による利用勧奨 人間ドック当日の面談実 施。 和7年度:54% 令和8年 を示す。特定保健指導の効 年齢や受診歴に応じて対 象者を優先順位付け。	となるのが ウ 度: 56% 果を上げる カ	外部委託機関と健康課題を共有。 令和9年度:58% 令和10には、プログラムへの参加県下19機関と契約。	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切 人間ドックの実施 長:61.0% 令和10年度: 受診勧奨を実施し、当該対	糖・脂質代謝異常が組みれている。 - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施をセット券での実施を提換ではよる特定保健指導による直接的な。 人間ドックの実施	合わさることにより、心臓が ・ ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 とでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	「ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施を持定保健指導の効果的など」 人間ドックの実施 「毎度: 45.0% 令和7年度	 と持つ人、つまり内臓脂脂・ ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施・ 合和6年度:40.0% 令利5法・体制を工夫したり、する 人間ドックの実施 :44.0% 令和8年度:43. 人間ドック・器官別検診 	お症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施 の7年度:40.2% 令和8年月対象者の属性や働き方に応じ - 人間ドックの実施	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 は:40.4% 令和9年度:40.6% 令和10年度 た指導を探るために活用できる。 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 疾病の早期発見・重症化予防による医療費抑制。	度: 10.0%)内臓肥満に高血原定健診・保健指導を通じた目を健診・保健指導を通じた目を支きを療費がし、生活習慣である。糖尿病・脂窶、常子全などが高高い。 (主) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
年度:90.0%)内臓脂肪では	症候群該 フト 全 (き を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	当指 男 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970 女 1970	備群をスクタックを表する。 基当 単者	リーニン 1 エ, 年度 : 5人 2 ク 値】	88.3% · ・ ッグし、必 ,,ケ,コ 52% 令る (特ドック)	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 8要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。 の実託機関による利用勧奨 。人間ドック当日の面談実 施。 和7年度:54% 令和8年 を示す。特定保健指導の効 年齢や受診歴に応じて対 象者を優先順位付け。 度:55.0% 令和7年度 医	となるのが ウ 度: 56% 果を上げる カ	外部委託機関と健康課題を共有。 令和9年度:58% 令和10には、プログラムへの参加 県下19機関と契約。 ・和8年度:59.0% 令和9年 で受診が必要な者を把握して	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切 人間ドックの実施	糖・脂質代謝異常が組みれている。 ドック当日の初回面談の実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 特定保健指導による特定代定保健指導による直接的な	合わさることにより、心臓が - ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 保健指導対象者の減少率(【 な成果を評価しているもの。 - 人間ドックの実施	時や脳卒中になりやすい病所 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 実績値】40.0% 【目標値 特定保健指導の効果的なな ・ 人間ドックの実施	版を持つ人、つまり内臓脂肪の ・ ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が症候群該当者の割合を表する。 - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施の7年度:40.2% 令和8年度対象者の属性や働き方に応じた。 - 人間ドックの実施	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特性 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 ・ 40.4% 令和9年度:40.6% 令和10年 た指導を探るために活用できる。 ・ 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 疾病の早期発見・重症化予防による医療費抑制。	度:10.0%)内臓肥満に高血に定健診・保健指導を通じた目 全支部と比較し、生活習慣 ける医療費が高く、増加傾 る。 糖尿病・脂質異常症・高血 患・脳梗塞・腎不全などか に高い。 度:40.8% 令和11年度:4 全支部医療費が高く、増加傾 る。 糖尿病・脂質異常症・高血 はある。 糖尿病・脂質異常症・高血 はある。 糖尿病・脂質異常症・高血 はある。 糖尿病・脂質異常症・高い。
F度: 90.0%)内臓脂肪 ための基盤となるアウス	症候群該 フト 全 (き を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	当指 男 1000 女 1000 女 1000 女 1000 女 1000 女 1000 女 1000 女 1000 女 1000 女 1000 女 1000 女 1000 女 1000 100	備群をスクタックを表する。 基当 単者	リーニン 1 エ, 年度 : 5人 2 ク 値】	88.3% · ・ ッグし、必 ,,ケ,コ 52% 令る (特ドック)	を送付。 令和7年度:88.7% 令和 8要な働きかけをする起点 所属所訪問型・遠隔型で の実施。 の実託機関による利用勧奨 。人間ドック当日の面談実 施。 和7年度:54% 令和8年 を示す。特定保健指導の効 年齢や受診歴に応じて対 象者を優先順位付け。 度:55.0% 令和7年度 医	となるのが ウ 度: 56% 果を上げる カ	外部委託機関と健康課題を共有。 令和9年度:58% 令和10には、プログラムへの参加 県下19機関と契約。 ・和8年度:59.0% 令和9年 で受診が必要な者を把握して	診査実施率は保健事業を進 ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 年度:60% 令和11年度: 及び継続を促すことが大切 人間ドックの実施 長:61.0% 令和10年度: 受診勧奨を実施し、当該対	糖・脂質代謝異常が組みれている。 - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施をセット券での実施を提換ではよる特定保健指導による直接的な。 人間ドックの実施	合わさることにより、心臓が ・ ドック当日の初回面談の 実施 本部一括契約での実施 セット券での実施 とでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	「ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施を持定保健指導の効果的など」 人間ドックの実施 「毎度: 45.0% 令和7年度	 と持つ人、つまり内臓脂脂・ ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施・ 合和6年度:40.0% 令利5法・体制を工夫したり、する 人間ドックの実施 :44.0% 令和8年度:43. 人間ドック・器官別検診 	お症候群該当者の割合を表す - ドック当日の初回面談の実施本部一括契約での実施セット券での実施セット券での実施 の7年度:40.2% 令和8年月対象者の属性や働き方に応じ - 人間ドックの実施	内臓脂肪症候群該当者割合の減少が、特性 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 生活習慣改善に向けた意識の向上。 ・ 40.4% 令和9年度:40.6% 令和10年 た指導を探るために活用できる。 ・ 内臓脂肪症候群該当者割合の減少。 疾病の早期発見・重症化予防による医療費抑制。	度:10.0%)内臓肥満に高血 定健診・保健指導を通じた目 全支部と比較し、生活習加 付る。 糖尿病・脂質異常症・高が 患・配を 度:40.8% 令和11年度:4 全支部と比較し、、生活習加 付る。 糖尿病・脂質異常症・高が 高い。 を主がる医療が高く、増加性 る。 糖尿病・脂質異常症・高が る。 糖尿病・脂質異常症・高が る。 糖尿病・脂質異常症・高が る。 糖尿病・脂質異常症・高が る。 糖尿病・脂質異常症・高が る。 を対して、

₹ 3-1/ 新 対象者	3401 3401	注4)		予算額(千円)							
ウ (注1) 質 事業 規	実施プロセス 実施方法	注4) ストラク チャー	実施体制			実施		事業目標	健康課題との関連		
予算 事業 分類 存 新規 事業名 事業主 性別 命 対象者	主体分類	チャー 分 類	Zuerraj	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	FALIM	BEIRDING C VIXIE
	アウトプット指標							アウトカ	1ム指標		

- 注1) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
- 注2) 1. 共済組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 共済組合と事業主との共同事業
- 注3) ア・加入者等へのインセンティブを付与 イ・受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ・受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ・ICTの活用 オ・専門職による健診結果の説明 カ・他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ・定量的な効果検証の実施 ク・対象者の抽出(優先順位づけ、事業主の選定など) ケ・参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ・健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ・就業時間内も実施可(事業主と合意) シ・保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス・その他
- 注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 カ. との他の団体との連携体制の構築 ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他